



# フィンランドの 原子力とエネルギー

放射線やエネルギーの問題を  
身近に  
感じる国のお話



## 講師 染井 順一郎氏

管理栄養士 (元在フィンランド日本大使館一等書記官)

プロフィール / 1960年千葉県生まれ、千葉大学園芸学部卒業。北海道開発庁、農林水産省、外務省 (在フィンランド日本国大使館一等書記官)、国土交通省北海道開発局開発監理部開発企画官で退職。現在は公益財団法人京都健康管理研究会中央診療所の管理栄養士として外来栄養指導業務を行う他、京都市食育指導員、日本料理アカデミー准会員として食育活動にも従事している。著書に「食と景観の地域づくり (学芸出版社：共著)」。

- 日時 / 2014年3月25日 (火) 19:00 ~ 20:30
- 申込 / 事前申込要・締切 / 3月24日 (月)
- 定員 / 55名 (希望者多数の場合はお断りする場合があります)
- 参加費 / 一般 600円・きたネット会員 300円 大学生以下無料
- 主催 / 認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

世界で初めて放射性廃棄物の最終処分地を建設したフィンランドは、チェルノブイリ原発事故後に世界で初めて新規の原発建設に踏み切った国でもあります。岩盤に由来する自然放射能の高さは、建築基準の中に「家屋に放射能がたまらない仕組み」を規定し、チェルノブイリ事故は、国内で「森のキノコ採集」や「湖での漁獲」にも大きな影響を与えるなど、放射能汚染は身近な問題でもあります。

一方、エネルギー全体についても、豊富な森林資源を活用したバイオマスエネルギーの利用や地域熱供給の普及など、新エネルギーを身近に使う国でもあります。

本講演ではこれらの現状を概説し、今後の北海道の進むべき道についての一案を議論したいと思います。



会場  
かでの 2.7  
1040 室  
札幌市中央区  
北2条西7丁目  
道民活動センタービル

<http://kitanet.org/>

きたネット事務局へ FAX、メール等でお申込ください。 FAX/011-531-0483 電話 /011-531-0482

お名前

所属・職業

ご住所 〒

TEL

FAX

E-mail